

岡部恒司

仙台市議会

活動レポート

平成23年
第4回定例会報告

発行人/岡部恒司
〒981-0933
仙台市青葉区柏木2-4-16-501
電話 022-271-1770



仙台市議会議員

岡部恒司

ともに前へ!!

今回の仙台市議会レポートは、平成23年第4回定例会（12月1日から16日に開会）の報告です。

困難な時代だからこそ、明日はよりよいものに、素晴らしい明日を創り出せると信じたい。地域の結びつきや交流を大切に、私も全力で取り組んでいく決意です。

今後ともご支援ご叱正を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

地方分権の推進について

こんにちは岡部恒司です。日頃よりご支援及び仙台市制へのご協力に感謝申し上げます。多事多難だった平成23年が終わり、新しい年を迎えました。

被災された皆さまには、いまだに不安な毎日を送られている方も多いと思いますが、昨年11月にやっと国の第三次補正予算が成立。本市も復興計画と大型補正予算を議決し、本格的な復興がスタートしました。

特に造成宅地の被害、山津波被害は私をはじめ多くの議員が行政による支援の必要性を強く訴え、市当局も奥山市長以下、国に再三にわたる対応を要請。従来の枠組みを打ち破る国の施策と予算を実現し、市の独自支援もこれまでにない手厚いものとなりました。

震災の経験から大規模災害発生時の救助業務権限を指定都市に付与する災害救助法改正の必要性や丘陵地等宅地災害を救済する法整備等、課題が挙げられる。本市はどんな戦略に立ち地方分権を推進し、災害時迅速に対応できる法整備の改革に取り組むのか。

答弁 地方分権の推進に当たりましては、住民の皆様にとって一番望ましい行政のあり方はどういふものかということが最も重要な観点であるとき

えている。この度の大震災の経験から、災害時に迅速に対応するためには、被災者に直接接し、声を聞いていく基礎自治体が、権限と財源を持って迅速に対応することが重要であると、あらためて実感したところだ。こうした視点に基づいた地方分権改革の必要性について国等に積極的に働き掛けていきたい。

大都市制度の創設について

質問 大阪では、大阪維新の会の知事・市長が誕生し、大阪都構想が動き出している。大阪都構想は、地方分権の取組みを否定していると考えられ、市長が目指す地方分権のイメージと大阪都構想は相容れないのではないかと、所見を伺う。

答弁 仮に基礎自治体の権限を縮小させるという方向での制度設計であれば、住民に最も身近な基礎自治体の権限を充実させていくべきと考える流れとは逆行するものと捉えるところだ。

質問 本市は特別自治市創設に向けた取組みを進めているが、市民への浸透度は不十分だ。特別自治市について、市民に目的や検討状況を開示する必要があると思うが、如何か。

答弁 指定都市市長会において検討を重ね、本年7月に提案の形でとりまとめを行い、指定都市市長会のホームページで公表するとともに、国の地方制度調査会で検討される際の議論に載せることとなっている。本市においても、より広く市民の皆様のご理解を深めていく必要があると考えており、今後取組んでいく。

災害復旧事業費について

質問 東日本大震災の災害復旧事業は補正や特別立法により、阪神淡路を上回る国の支援措置が講じられ、補助金と特別交付税措置により実質的自治体負担がゼロになる。国の財政支援拡充は、被災自治体が国への働きかけた成果だが、これまで国に對しどう働きかけてきたのか。

答弁 東北市長会や宮城県市長会といった自治体連携による取組みとともに、単独での要望も重ねてきた。特に、膨大な事業費が見込まれる東部地区の集団移転や丘陵地区の宅地復旧に向け、制度提案にまで踏み込んだ内容で要望してきたところであり、こうした成果が、今回の第3次補正に一定程度反映されているものと考えている。

質問 災害復旧費の総額について、企業会計分を含め如何程になるのか。

答弁 今回の補正予算に加え、これまで補正措置を講じた災害復旧事業費は、企業会計分を含め約1700億円となる。

復興基金の活用について

質問 都市経営の影響について、国の手厚い支援措置がある一方、ガス事業の支援は厳しい。膨大な災害復旧事業や復興事業による都市経営の影響を現段階でどう見込んでいるのか。

答弁 公営企業に対する一般会計繰出も含め、相当の地方負担が想定されることから、財政状況は更に厳しさを増す見込だ。ライフラインをはじめとする各種公共施設を早期に復旧することは、今後の復興の土台と考え、国に更なる財政支援を求めつつ、着実に取り組んでいきたい。

震災復興基金について

質問 どのような戦略で震災復興基金を設置するのか。

答弁 独自の財源を確保し計画的に実施していく手法として基金の設置が有効であり、また政令指定都市として被災地全体を先導する独自の施策も積極的に取り組んでいくことが肝要と考え、独自の基金を創設することとした。

質問 基金の規模は、また基金対象事業に復興交付金の活用

も検討しているが、この規模で今後取組む復興事業に支障はないのか。

答弁 補正予算へ100億円の基金積立。復興基金のほかにも、復興交付税や復興特別交付税をはじめとする様々な財源を活用しまして、復興計画の着実な事業推進を図っていく。

質問 具体的使途内容はいかがか。

答弁 被災者生活再建や地域経済復興再生、防災機能強化をはじめとした、本市独自の施策を予定しており、避難所備蓄物資の配備や宅地再建の独自支援策に充当しているところだ。



〈裏面に続く〉

郵便はがき

9810933

仙台市議員
岡部恒司 行

仙台市青葉区柏木2丁目4番16号501

投函される場合は、恐れ入りますが、50円切手を貼付してご投函お願いします。

※是非ご記入ください。

お名前	
ご住所	
様	

交流人口拡大について

質問被災地への観光について
は、犠牲者、被災者に配慮し
つつ、復興に向けて前に進む
姿を国内外問わず広く知っ
てもらふ必要がある。観光自
粛ムードや風評被害を払拭し、
交流人口増加に結びつける具
体策が求められるが、如何か
答弁被災地の復興の姿を発信
し、それを資源とする観光は、
交流人口の拡大の為の重要な
テーマであると考えている。
地域の状況に応じ復興をテ
ーマとしたイベントや体験型・
学習型の企画など、その地な
らでの魅力の再編と創出に
ついて、広域観光連携の中で
検討している。

質問来年は、仙台ハーフマラ
ソン、ねんりんピック等、話
題性のあるスポーツイベント
が予定されている。本市を舞
台とするイベントを観光に結
びつけ、思い切った取組みが
交流人口拡大や被災自治体と
の連携に効果的だが、今後の
取組み方針は。
答弁 イベントを機会に観光も
していただくことや地域の魅
力に触れ、再度観光に訪れて
いただくことが重要であると
考える。改めて様々なおもて
なしの向上策の実施や、安価
で便利な公共交通機関利用パ
スの検討など、地域全体で取
り組む体制を定着させ、交流
人口の拡大を図っていきたく
と考えている。

国際会議の開催について

質問震災後間もない時期から
コンベンション誘致を働きか
けいくつかに具体例も見られ
た。震災後誘致した国際会議
について、如何程の経済波及
効果があったのか。また、震
災の被災状況が世界規模で報
道されたことから国際的イベ
ント誘致は実現性が高く、地
元経済活性化効果も期待でき
る。今後仙台で国際会議が開
催される可能性があるか伺う。
答弁 震災後に誘致した国際会
議は、8月の「APCC緊急事
態へのワークショップ」など
7件あり、合計で1億8千万
円となっている。
来々4月に、世界旅行ツー
リズム協議会の「総会、理事
会、仙台サミット」の開催が
予定されており、現在誘致中
の会議を含めると、来年度末
までに100件程度の開催を目
指している。

仙台塩釜港の整備について

質問仙台塩釜港は国際的拠点
港として整備されてきたが、
今後どんな位置付けで整備し
ていくのか、統合一体化につ
いては如何か。
答弁 コンテナや完成自動車な
どの国際物流拠点として、引
き続き機能強化を行っていく
ことが位置づけられている。
市としても東北経済を支えて
いくためには、仙台塩釜港の
防災面も含めた整備が不可欠
であり、早期に整備が進むよ
う、関係機関に働きかけてい
く。

マンションの防災力向上について

質問マンション生活を踏まえ
た災害対応策と共助体制構築
が求められているが、防災力
向上を図る観点から側面的支
援が必要だが、今後の取組み
方針は。
答弁 今回策定予定のマンシヨ
ン防災ガイドラインは、住民
同士が話し合いながら防災対
策に取り組んでいくためのマ
ニュアル作成と指針となるも
のだ。マンション管理支援団
体等とのネットワークを活用
しながら、普及啓発に努めて
いきたい。

質問マンションの受水槽を利
用して災害時に周辺住民に給
水を行えるようにする等、非
常時の旧施策として効果的だ
と思うが如何か。
答弁 3月の震災時には、東北
文化学園において、地域の皆
様にご提供いただいたと伺っ
ている。他都市の取り組み状
況なども参考にしながら検討
していきたい。

消防団の通信設備について

質問これまで各地域の消防分
団には受信しかできない消防
無線が配備されている。災害
対応を行う消防団には、相互
通信可能な消防無線の配備が
必要だ。特に災害時に地域を
巡回する積載車には通信可能
な設備が求められるが如何か。
また今後通信設備の整備をど
のように展開するのか。
答弁 消防団と消防署間は携帯
電話等により対応しておりま
したが、3月11日の震災に
おいては、発信規制により通
話ができない状態となり、情
報のやり取りに困難を極め
た。相互通信可能な消防無線
機などについては、無線局に
係る免許の取得、国家資格を
有する従事者の確保など、法
令上の課題や日常の維持管理
体制など、解決すべき課題が
ある。今後の動向も見据えな
がら積載車への通信設備のあ
り方について検討していく。

津波情報伝達システムの復旧について

質問震災により50機の津波
情報伝達システム機器の内3
2機が破壊された。津波被害
を受けた地域には住民が暮ら
しており、システムの復旧が
必要だ。優先順位としても一
機でも再配置を急ぎ、地域住
民の安全確保を行った上で更
なる安全対策が求められるが
如何か。
答弁 これまで復旧作業を急ぎ
現在約4割程度が稼働してい
る状況だ。引き続き装置の復
旧に取り組んでいるが、津波
が浸水した区域で屋外拡声装
置が未設置となっている住宅
地等に対しては、早期の整備
に努め地域住民の安全を確保
していきたい。

被災地復旧工事について

質問被災地では一刻も早い事
業着手が求められている。宅
地被害者に対しての説明と、
工事実施に係る調査、設計等
が急がれるが、今後どのよう
なスケジュールで進むのか。
答弁 国費の執行に係る手続き
が明らかになり次第手続きを
進め、可能な地区から復旧工
事の設計を行い、完了した地
区から順次工事に着手してい
く。また、本市独自の支援制
度については、来年早々に相
談窓口を開設し、相談の受付
を開始できるよう準備を進め
ている。

市民センターの設置について

質問市民センターは災害発生
時には市民の生命を守り、避
難者を収容する最前線の拠点
施設の役割と、平時は地域コ
ミュニティにおける共助の取
組みをコーディネートする防
災拠点施設としての役割が求
められるが、当局の見解は。
答弁 指定避難所や指定の運営
のあり方などの見直しを行う
中で、備蓄物資のあり方など



みなさんの声で住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたら
お気軽にお知らせください。

● 復旧・復興に対してのご意見を一言お願いいたします。

Form area for submitting opinions and suggestions regarding city reconstruction and recovery.

みなさんの声をお聞かせください!

右記のハガキに、市政に関するご意見・地域のお困り事ご意見などを記入し切り取って、表面に50円切手を貼付し投函ください。皆さんと一緒により良い仙台を目指して、地域の声を市政に反響させてまいります。どうかよろしくお願いいたします。

ホームページ開設しました!

http://okabekoji-sendai.jimusho.jp/

ホームページからもご意見を投稿することができます。一度ご覧ください。

Advertisement for Okabe Kenji's homepage, including a photo of him and contact information.

仙台市議会議員 岡部恒司

お電話でご協力をいただければ幸いです。

連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

FAX 022(271)1786